



# 駒岡小学校だより

## 思い出が成長へ

校長 松本 稔

駒岡小学校の4, 5, 6年生の宿泊学習が1学期にすべて実施されました。6年生は日光へ、5年生は赤城へ、4年生は愛川で各学年に応じた様々な活動が展開されました。

昨年度は体育館工事に伴い、運動会が春に行われたため、秋に宿泊学習が実施されましたが、今年度は例年通り春に泊体験学習を実施いたしました。

内容などは異なりますが、学年の発達段階に応じて、次のようなねらいで実施されます。新しい学年になって宿泊学習という大きな行事を通して思い出をつくり、子どもたち一人ひとりの成長がみられたのではないのでしょうか。

- 泊を伴う集団生活を通して好ましい人間関係を育てる。
- 自然や文化に触れる体験を通して、自然愛護の心を育てる。
- 自分の役割を自覚し、責任をもって進んで行動する態度を育てる。
- 集団生活を通して生活習慣や公衆道徳などについて体験を積む。

新しい学年が始まると間もなく宿泊体験学習の事前指導が始まります。各担任は実行委員会を立ち上げ、子ども達と共に、めあて（スローガン）や具体的な活動の計画を進めます。

子ども達と話し合う中で子ども達の言葉で「スローガン」が決まっていきます。決められたスローガンは、全員が集まって活動の節目に気持ちを一つにするために声を出して唱えます。中には替え歌を作って気持ちを一つにする学年もありました。そして「スローガン」を元に振り返りを行い、軌道修正やお互いの志気を高め合うことが繰り返されます。

4年生＝「あかるくあいさつをする。かんがえて挑戦する。わすれられない思い出をつくる。」

5年生＝「本気で挑戦 いつでも団結 責任をもって 笑顔がいっぱい 5年の五つ星」

6年生＝「ラストスパート 仲間と楽しく学び仲を深めよう コズミックスター」

今年度の宿泊学習の子ども達の様子をすべて見てきました。（個別支援級の宿泊学習は11月に実施）

どの学年も共通して見られたことは、1日目より2日目、2日目より3日目と、活動を重ねるにしたがって様々な活動に成長がみられたということです。子ども達同士の協力の仕方が上手になったり、5分前行動ができ、指示されて行動するのではなく、自発的に先を見通して行動することができるようになったりということです。

子ども達が自信をもってそれぞれの活動に参加し、役割分担がしっかりでき、自分の役割と責任を自覚し努力していました。ときには自分の役割を超越して、その場に応じた協力や支え合いもできるようになってきていました。



子ども達が立てた計画を、運営し実行できるように、指導者は宿泊体験学習全体をコーディネートしていきます。私が見る限り、全ての学年で、「集まってください。」「静かにしなさい。」「早くしなさい。」「〇〇しなさい」という指示は、ほとんどありませんでした。

自主、自立（律）、自治の精神を大切にした活動を積み重ね、行事を成し遂げた思い出が子ども達を育てるものだ強く感じました。

指示を待つ子どもから、自ら考えて行動する子どもへの成長の一步であったのではないのでしょうか。

